

稲美町教育委員会議事録

1 開催日時 令和6年10月24日(木) 開会 15時30分
閉会 16時32分

2 開催場所 稲美町役場303会議室

3 会議に付した事項

日程第1 諸報告

- (1) 行事・経過報告について
- (2) 10月・11月の行事予定について

日程第2 議案

議案第11号 令和7年度稲美町立幼稚園の入園許可について

日程第3 協議

- (1) 令和6年度全国学力・学習状況調査について

日程第4 その他

- (1) 9月分問題行動件数について
- (2) 令和7年度の予算編成について(別冊)
- (3) 区域外就学許可の報告について
- (4) 第3回稲美町教育振興基本計画点検評価委員会の報告について

4 出席委員

教	育	長	北	谷	錦	也
委		員	後	藤	哲	夫
委		員	本	多	澄	子
委		員	高	田	道	夫
委		員	松	田		緑

5 出席職員

教育政策部長	沼田弘
教育課長	奥陽一
学校教育担当課長	稲葉寛
管理担当課長	前田浩二
人権教育課長	瀧口泰広
生涯学習課長	赤松嘉彦
スポーツ担当課長	中澤秀俊
文化の森課長	中嶋聖仁

6 開 会

教育長

委員の皆さまにおかれましては、お忙しい中ご出席をたまわり、誠にありがとうございます。

本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により定足数に達しております。よって、会議が成立していますので、ここに開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしております。

会議の傍聴についてですが、傍聴される方はいらっしゃいません。

次は、議事録の承認です。9月の定例会議事録をお手元に配付いたしておりますが、これを承認いただけますか。

各委員

異議なし。

教育長

異議なしのお声をいただきましたので、議事録は承認されました。

次は、議事録署名委員の指名であります。議事録署名委員は、稲美町教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、教育長から指名いたします。10月分を本多澄子委員にお願いします。

続きまして、私から、日程第1、諸報告ですが、別紙資料の通りです。

続きまして、各課より報告をお願いします。

教育課 (報告内容省略)

人権教育課 (報告内容省略)

生涯学習課 (報告内容省略)

文化の森課 (報告内容省略)

教育長

各課の報告について、何かご意見があればお願いします。

後藤委員

2ページの教育課の10月23日のGTEC研修会、前にもお聞きしたのかもしれませんが、GTECは何の略なんでしょうか。

稲葉課長

GTEC というのは、CEFR(セファール)というような英語の技能を図るような世界的基準があるのですが、その世界的基準に合うような形での検定結果というのが出る試験です。

GTEC というのは、英語のスキルを見るような試験で、英検とは違うのですが、稲美町の中学3年生に対しまして、英語の読む・書く・聞く・話すといった技能がどれだけ身につけているのかということを見るもので、7月の末ぐらいに、検定試験を行いました。その検定結果を受けまして、稲美町の中学校の子ども達の英語力がどうなのか、その分析結果をどう活かすのかということ、教員を対象に研修をしました。昨日の研修会では結果を受けて、こういったところに今、課題があるから、こういう授業をしていきたいと思いますということを話しました。

教育長

次は日程第2 議案第11号「令和7年度稲美町立幼稚園の入園許可について」を議題といたします。事務局から提案理由の説明を求めます。

奥課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

高田委員

表で見させていただくと、加古幼稚園の入園予定者数というのが、2名ということで非常に少ないです。進級者が10人いるので、何とか園としての運営はできるかと思いますが、この辺りのことに関し、人数的な問題に関して、加古地区の方でもそういう話し合いが行われているかと思えます。当然まだ決まってないかと思えますが、どの程度お話が進んでいるかお聞かせいただきたい。

というのは、人数のことで質問をしないで、この会議を進めるというのも、私は加古にいる人間として、責任を果たしていないかのように思いますのでよろしくお願いします。

教育長

委員の方から質問もありましたが、今、まだ決まってないのですが、これと並行しまして昨年からの今後の町内の幼稚園のあり方検討委員会が開催されています。今まで5回開催する中で、もちろん今委員の言われた各幼稚園の園児数というのも、議題の1つとなっております。ただ全体的に少子化が進む中で加古幼稚園だけの課題ではないということ。今加古幼稚園と、天満南幼稚園、今年から母里幼稚園の方で、4歳児と5歳児のクラスを1つにして、異年齢の教育というのをやっています。その中で、人数に対して教育活動の中で、何かお友達と共同作業をするには、1つのグループではなくて、複数のグループが欲しいということで、6人。最低6人は、園児の数が欲しい。ただ、6人だけでいいのかというと、少人数の目が行き届きやすいところと、いろんな少人数教育の良さもありますので、そういうことも含めて今検討していただいている。数が減ったから、統廃合とかそういう問題ではなくて、これは、幼稚園給食について、保護者のニーズが高い。幼稚園給食があればなのですが、幼稚園を選んでくれる方も増えるかもわからない。

あるいは3歳教育に関しては加古幼稚園と天満東幼稚園ではまだ開始していません。この表を見ていただいても、開始している天満南幼稚園や母里幼稚園、天満幼稚園、特に天満南幼稚園との関係が近いものがある、これによって天満東幼稚園の人数が随分変わります。園児数全体で

ちょっと逆転が、来年起こるような状況も出ていますので、3歳児の受け入れを、天満東幼稚園等で始めたときにどんなふうに園児が動くのか、そういうのも見極めながらです。

確かにこれは加古幼稚園だけでなく、全体的には少子化が進む中で、近隣の市町でいうと休園とか統廃合ということがあります。稲美町に関しては、検討委員会でそういうことを考えなければいけない人数というのが、どれだけの人数だろうというのが今検討をさせていただいているところです。その中で1つの目安として、6名という数が今出ていますが、これもまだ検討途中という状況ではあります。

他に、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、これより採決に入ります。議案第11号は、原案のとおり承認することに異議ございませんか。

各委員

異議なし。

教育長

ご異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり承認されました。

次は、日程第3、協議(1)「令和6年度全国学力・学習状況調査について」を事務局から説明願います。

稲葉課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

後藤委員

12ページのところです。

全体的なまとめのところで、特に12ページの下半分のところ、「自分には良いところがあると思う」ということと、それから家庭や地域に関する項目ではということと、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」というところが非常に良い。自己肯定感があり、いじめに対しても、非常に高い結果、いい方向にあるということ、地域との関係がかなり意識できるようになってきている。本当にこれは望ましい傾向であるので、これからも続けてもらったらいいのではないかと思います。

学習に関してはいろんな課題も、またいいところもあり、年度によっても違いがあるかと思うのですが、とにかく最後の2つについては、いい方向かなと感じさせてもらいました。

それからもう1点。20ページのこれは中学3年生の生活と学力の関係の一番最後のところで、スマホとの関係ということで、今までにもいろいろ、課題として出てきているわけですが、この今の3年生のスマホの使い方。家の人と約束したことを守っていますかということで、正答率の国語と数学の一番高いのが、スマホやコンピュータを持っていない子の方が一番高いというのがここで出ているわけです。

これはエビデンスとして、東北大の川島教授が、もう十数年にわたって研究してはっきりと言われているので、1時間以上、1時間以内であれば成績は関係ありません。だけど1時間を超えていくと、だんだんとその成績が落ちて、3時間を超えると、いくら勉強しても、スマホを3時間見ると全部学習内容が飛んでしまう。こういう結果が出ているということも読んだことがありますし、稲美町の3年生の子ども達の中で見ても、全然持っていない子の正答率が高いということ

は、これは1つの子ども達に対しても、保護者に対しても、はっきりと何らかの形で出していてもいいのではないかと感じております。

うちの孫も中学2年生の男の子がおりまして、ときどき家に行ったり、家にも来てくれたりするのですが、もう課題はそれです。「うちの場合は、1時間半と決めたよね。それを超えている！」とか言うんですね。親子ゲンカ、そればかりです。大変だなと思うのですが、親が頑張らないと、子どもはどうしても自分の興味があることで、ヘッドフォンをつけてそれに一生懸命になったらもう他のことを考えない。

ぜひこういう1つの姿勢として、子ども達にも、地域、保護者にも出して行っていただきたいと思います。

教育長

私も少し気になるのですが、後藤委員の言われたように、学校現場で実際に親御さんの相談を受けた子ども達と接する中で考えると、例えば、高校生になるまではスマホとか持たせませんよとか、そういう家庭内で、それも1つの約束です。そういうのをきっちりしている家庭の子が、成績が高いのか。それとも、スマホとか先ほど言われたことが子ども達に影響を与えているのか。その辺りの分析は、この結果だけではそこまでできないので難しいところだろうと思う。何か皮肉な結果が出た後、学校で1人1台タブレットということで、子ども達の児童生徒の学習の個別化ということで、どんどんコンピュータや、タブレットを活用していこうという中で、持っていない子が一番成績が良いという結果が出てしまった。この辺り後藤委員の指摘もあったように、しっかりと分析して、ある程度町の方からも発信していくことも必要かと思えます。

奥課長

教育長がおっしゃるように、これが要因ということではないので、それをどうとらえていくかだと考えます。

学校では、すべての子どもが1人1台端末を手元に置き、学習も活用しながらその使い方のモラルも含めて、学んでいるところです。それに対して、家庭の方できちっと約束がある、もしくは持たせないという親の考え方があるということに結果が出ているというとらえ方もできるのかなと思います。本をたくさん持っているということを含めて、どのような傾向にあると、より良い学びが深まっていくのかといったところを家庭との連携をとりながら、学校で学びを深められるように検討します。

教育長

後藤委員からもあったように、この結果とそれから項目の中に、SNSとかそのネットを使う時間の長さで、そこでは明らかに長い時間触っている子の方が成績が思わしくないというのは出ている。やはりある程度時間を区切るということは必要かと思えます。その辺り、使い方と、それからあとは自分が使用するとき、やはり時間の約束とか、そのあたりの発信は町の方で整理してできるかと思うし、そういう取組も一方が必要かと思えます。

学習にこれも今あるんですが、使うなということとはできない。でも有効に使うようにということとは、それを広げていくことも、私たちの責任かなと思います。

また事務局の方でも検討、研究をお願いいたします。

他に何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、協議事項を終わります。

次は、日程第4、その他(1)「9月分問題行動件数について」を事務局から説明願います。

稲葉課長 (説明内容省略)

瀧口課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

次は、その他(2)「令和7年度の予算編成について」から(4)「第3回稲美町教育振興基本計画点検評価委員会の報告について」を事務局から説明願います。

沼田部長 (説明内容省略)

奥課長 (説明内容省略)

瀧口課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、以上で本日の議事はすべて終了いたしました。

なお、次回の定例教育委員会は11月27日(水)ですので、よろしく願いいたします。

それでは、これで本日の会議を閉会といたします。

本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。